



日立市立南部図書館

～くつろぎ ふれあい 楽しむ図書館～



図書館だより

2025 年冬号

発行 令和 7 年 1 月 20 日 No.46

新しい年を迎えました。今年は南部図書館が開館してから 12 年目を迎えます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様のご利用を心よりお待ちしております。



芥川賞作家 松永 K 三蔵さん 南部図書館にご来館！！



令和 6 年 11 月 14 日、『バリ山行』で第 171 回芥川賞を受賞された、水戸市生まれ日立市出身の作家松永 K 三蔵さんが、南部図書館に来館されました。

この度、「いばらき大使」に就任された後、お母様の実家がある日立市にも立ち寄られ、近くの南部図書館にも足を運んでくださいました。（子どもの頃には、久慈浜で海水浴をしたこともあるそうです。）



当日は、芥川賞の正賞である、松永さんの氏名が刻印された「懐中時計」を見せていただくとともに、イラスト入りの素敵な「ミニ色紙」をいただきました。（その後、記念・多賀・十王図書館分の色紙も送っていただきました。）

松永さんは、大変気さくでやさしいお人柄の素敵な方でした。

南部図書館においていただき、本当にありがとうございました。また、茨城県にお越しの際は、職員一同ご来館をお待ちしております！



【松永 K 三蔵さんの著書】

『バリ山行』（講談社）

会社の登山部に所属する波多は、登山道を外れて山に行く「バリ」をする先輩妻鹿に憧れ同行する。山の危険にさらされた波多は何を思うのか。第 171 回芥川賞受賞作。



『カメオ』（講談社）

新倉庫建設の工程管理を任された高見。隣地に住む犬連れの男が工事現場にクレームを入れてくる。その男のヘルメットには「亀夫」と書かれていた。第 64 回群像新人文文学賞優秀作。

